



MANAZURU

議会だよりまなづる

No. 69

2020年(令和2年)

11月1日発行



真鶴町絵画コンクール展
町議会議長賞 井林 愛万音さん作品

C 目次 ontents

9月定例会	2~14P
意見書	15P
審議結果	16P
一般質問	17P
委員会等報告	18P
委員会への出席・傍聴	19P
諸般の報告	19P

神奈川県真鶴町議会

〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩244-1
電話0465-68-1131(内線360)
info-center@town-manazuru.jp

発行/真鶴町議会
編集/議会広報特別委員会

ご意見ご感想をお寄せください

9月定例会

9月定例会

8月18日～21日
定例会開催

9月定例会は、任命・締結・条例の改正・補正予算・決算の認定等の審議が行われました。

教育委員会委員の任命について

全員賛成

瀧本朝光氏の任期が満了となるため同氏を再任しました。

工事請負契約の締結について（真鶴聖苑自立・分散型エネルギー設備等導入事業）

全員賛成

真鶴聖苑自立・分散型エネルギー設備等導入事業の請負契約に当たり、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議決しました。



真鶴町常勤特別職員員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が地域経済や住民生活等に多大な影響を与えていることにより、特別職の給料及び期末手当を減額しました。

5月の臨時会において議員の期末手当を減額しました。何故その時に特別職も減額しないので9月からになったのですか。

町長 別段意味はありません。6月定例会に間に合わなかったので9月に

真鶴町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正により、個人番号の通知カードが廃止されたことに伴う改正をしました。

黒岩 今回の改正はマイナンバーカードの推進が目的だというふうに見えるのですが、なぜそうする必要があるのでですか。

町民生活課長 マイナンバーカードの国の普及率は16%でいまだ普及が行われていないというところから、通知カードでも足りるという世間的な解

釈がある中でこれを廃止するところですか。当町の通知カードの再発行件数は令和元年度2件、2年度は今のところ0件です。

黒岩 マイナンバーカードの発行率はまだ全体に低いという状態で、無理に進める必要があるのでは

ありませんか。国からの通知に基づき改正をしていますが、当町の通知カードの再発行件数は年々減っており、マイナンバーの確認は住民票等で行えることから廃止しても問題がないと思われ

なりました。

しょうか。

真鶴町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成

民法の一部を改正する法律の施行に伴い、不正入居者への請求に用いる利率及び敷金の取扱いについて改正をしました。

天野 不正入居者の定義を伺います。健康福祉課長 例えば単身なのに二人で暮らしていたとか、課税情報に不正申告があったとか、申請書に明らかな不正記述があった場合、そういったケースになります。

令和2年度真鶴町一般会計補正予算（第3号）

令和2年度真鶴町一般会計補正予算（第3号）

全員賛成

歳入歳出それぞれ2億3730万円を追加し、予算の総額を48億2811万1000円としました。

岩本 感染症対策生活支援交付金の7157万円は商品券の配布だと思いますが、町民にもあったらいいという話は私も随分聞いていますので、

ど、この時期にした理由を伺います。

企画調整課長 財源の見込みが立ったのがこの時期でございますのでこの補正にあげました。

岩本 財源という話ですと5月に町内商工業者あての6000万円の給付、これは財政調整基金から5000万円とふるさと応援基金からの1000万円を使って町独自で、

まだ国の補助が出てくるか、という時の事業だと思いますが、その時この1万円の商品券配布も一緒にできたと思います。何故しなかったのか伺います。

企画調整課長 それだけの財源確保が難しかったためできませんでした。岩本 財源がどうかというのを考えますと、財政調整基金はまだ5000万円残っていた。それと、ふるさと応援基金も1600万円ほど残っていて、当時の予備費、これも入ると十分間に合う額だったはずですが、どうして予算がないとい

いませんか。

質疑応答

9月定例会

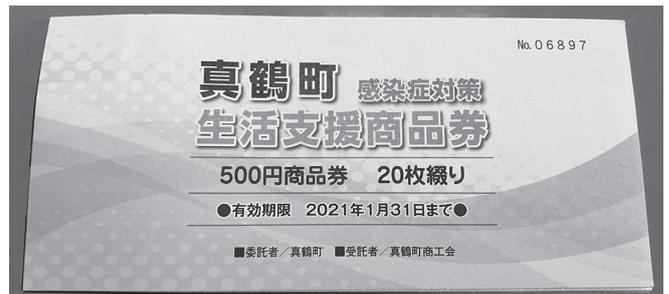
うことになるのか、そこを伺います。

企画調整課長 6月の補正のときに御説明したかと思いますが、コロナ感染症対策の事業ばかりでなく、災害等も見越した財源の確保が必要であり、財政調整基金を全て使わずに対応しました。

岩本 町民の中には事業者だけ救済、交付を受け一般町民はどうなるのかと、ここでやると言う事になり、町民からするとなぜあの時にということになるのですが、その辺はいかがでしょうか。

企画調整課長 地域経済を活性化するには、まず企業の方を支援するのが第一と考え、あの時には企業を優先致しました。

岩本 地域経済のことと、いうことで中小企業事業者に対することは分かっていますが、地域内の経済ということになれば当時から商品券にすればいいわけで、5月の決定で6月頃から流通していれば経済効果は既に出ているはずだと思えます。



で、対象数は何件になりますか。

健康福祉課長 対象総数160人、接種率50%で一応80人分を見込んでいます。

天野 岩海水浴場管理委託料はライフセーバーだと思えますが、いつからいつまでで、人数とまたどのような形で監視をしているか伺います。

産業観光課長 期間は7月23日から8月30日までです。自然海岸については県の方で看板設置や警備員の配置を心配します

黒岩 感染症対策地域医療機関支援金1000万円は医療機関に支援するということですが、法人に700万円、四つの病院に400万円、1100万円、これが10000万円になっている理由は何ですか。

企画調整課長 あくまでもそこは上限額でして、予算の範囲内でこの上限額をもとに支援をしてくという考え方です。

黒岩 感染症児童・生徒の予防接種助成金、今度高校生も対象ということ

天野 自動車借上料21万8000円、借上げ期間はいつ頃までですか。

まちづくり課長 マナテイ号は窓が運転席しか開かないので、密を避けるため窓の開くバスを今年度いっぱい借上げます。

実際の借上げ日数にて精算します。

天野 今まで使っていたマナテイ号は全く使わないということですか、町民から走っていない、どうなっているのかと言われますがダイヤは変わっていないのですか。

まちづくり課長 マナテイ号は伊豆箱根の車庫に置いてあります。今、町内を走っている白いバスの点検等の時は走らせています。ダイヤにつきましては一切変更ありません。



天野 感染症対策生活支援商品券発行委託料の委託先とその内容について伺います。

産業観光課長 委託先は商工会です。内容は商品券7150人分の印刷費、参加店への通知や確認のための発送費、参加加盟店が貼るステッカー制作費、事業者のための換金手数料と人件費です。

天野 印刷代とステッカー代でいくらになるのですか。

産業観光課長 商品券印刷代84万1000円、ステッカー印刷代3万8000円です。

天野 その印刷代と手数料合わせても448万円にはならないのですか。

産業観光課長 印刷代他に、換金手数料が1枚当たり15円で216万円、それと9月上旬から3月末までの人件費129万7000円を見込んでいます。

の段ボール間仕切り、畳シート、収納バック、段ボールベッドの購入費とそれを収納する倉庫1基を購入する費用です。

天野 倉庫はどこに建てるのですか。

総務課長 町立体育館の敷地に今一つありますが、その隣にもう一つ置きます。

天野 学校事故調査委員会の委員の人数は何名で、現在も継続中ですか。

教育課長 4名お願っています。現在も継続して行なっています。

令和2年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第2号) 全員賛成
歳入歳出それぞれ7455万円を追加し、予算の総額を11億9645万5000円としました。

9月定例会

令和2年度真鶴町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ20万3000円を追加し、予算の総額を9716万3000円としました。

全員賛成

令和2年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ34万5000円を追加し、予算の総額を2億124万5000円としました。

全員賛成

令和2年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

保険事業は歳入歳出それぞれ3492万円を追加し、予算の総額を9億2422万円とし、介護サービス事業は歳入歳出それぞれ47万円を追加し、予算の総額を567万円としました。

全員賛成

令和2年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ94万1000円を追加し、予算の総額を3344万1000円としました。

全員賛成

令和2年度真鶴町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ63万3000円を追加し、予算の総額を1億4745万3000円としました。

全員賛成



決算成果概要説明

町長より、財政規模は前年度に比べて増加していますが、行財政の改革や様々な助成金や交付金、基金の活用、過疎対策事業債などを有効活用し、施政方針に基づき「信頼で築く未来、美しく輝く町」を目指す「ほほ笑み地域社会」の実現に向けて取り組んだ成果について、一般会計他6特別会計及び水道事業会計ごとに説明がありました。

良好でしたが、常に事業の見直しを行い、行財政改革の更なる推進、補助金等の利活用による財源確保、過疎対策事業債の有効活用による後年度負担の軽減、行政の簡素・効率化に一層努力されることを望みます。

また、町の財政は依然として厳しく、今後も自主財源の増加が見込めない中、町税、各種未収金解消に鋭意努力されることを望みます。

点としての役割が果たせるよう望みます。

【介護保険事業特別会計】訪問調査・要介護認定事務の公平効率化を目指し、サービスの充実・確保への一層の努力と、介護保険計画策定アンケート結果を、全所管における各事業への活用を望みます。

【水道事業会計】自己資本構成比率及び固定資産対長期資本比率は、共に年鑑指標を大きく下回っており、早急なる事業見直しを望みます。

今後の水需要について、給水人口の減少や節水意識が一段と進み、給水収益の大幅な増収は見込めないと恐れ、現有施設の維持管理にも相当の財政需要が見込まれるなど、環境は一層厳しさを増すものと考えますので、事業の見直しを徹底すると共に、料金の見直しを図るなど、経営の更なる安定化に努めることを望みます。

【真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計】指定管理者との連携を密にし、観光拠

決算監査報告

令和元年度一般会計、特別会計、水道事業会計決算について、監査委員より報告がありました。

【国民健康保険事業特別会計】保険事業の充実、医療費の抑制、健全で効率的な事業運営に一層の努力をされると共に、診療所指定管理者による運営体制のもと、健全な財政運営と保険・医療・介護の連携に引き続きの努力を望みます。

【水道事業特別会計】事業計画区域の面整備を進めると共に、普及率の向上に努め、使用料の確保を図ることを望みます。

【真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計】指定管理者との連携を密にし、観光拠点としての役割が果たせるよう望みます。

【介護保険事業特別会計】訪問調査・要介護認定事務の公平効率化を目指し、サービスの充実・確保への一層の努力と、介護保険計画策定アンケート結果を、全所管における各事業への活用を望みます。

【水道事業会計】自己資本構成比率及び固定資産対長期資本比率は、共に年鑑指標を大きく下回っており、早急なる事業見直しを望みます。

今後の水需要について、給水人口の減少や節水意識が一段と進み、給水収益の大幅な増収は見込めないと恐れ、現有施設の維持管理にも相当の財政需要が見込まれるなど、環境は一層厳しさを増すものと考えますので、事業の見直しを徹底すると共に、料金の見直しを図るなど、経営の更なる安定化に努めることを望みます。

【真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計】指定管理者との連携を密にし、観光拠

決算の認定について（令和元年度真鶴町一般会計決算）

賛成多数

【一般会計】概ね計画通り執行され、成果は概ね

【一般会計】概ね計画通り執行され、成果は概ね

【一般会計】概ね計画通り執行され、成果は概ね

【一般会計】概ね計画通り執行され、成果は概ね

質疑応答

9月定例会

税務収納課長 原動機付自転車は762台、軽自動車は1769台、小型特殊自動車は16台、二輪の小型自動車は、83台です。

森 まち・ひと・しごと創生費、負担金補助の関係で地域商社推進事業委託料、これは販売のノウハウを学ぶ事業ということとは分かっています、参加した人数と、開催した回数を伺います。

産業観光課長 指導した人数につきましては、産業観光課のほか、実際に推進協議会のメンバーで水産業、実際事業を担っていく中心である漁業者2名を中心に、その他につきましては食農共創プロジェクトユーザーズでのアドバイス、また町関係それぞれ含めて、推進協議会を行ったものですが、回数につきましては延べ11回開きました。



天野 お林展望公園のパークゴルフ場の使用料は、毎年減っていて、毎年同じ質問していますが、減っている理由と今後どのような対策があるか伺います。

産業観光課長 数年前までは近隣になかったものが開設したというところで若干流れていることもあり、実際に今まで利用していた方がだんだん少なくなり集客が望めません。町内の常連さんが中心となって行っていました、コースの変更等も考えています。対策としては、利用者増が難しい中、民間の方を含めた会議を開催し、外部の人の意見を聞きながら運

管方針を今年度中に決めていきたいと考えています。

天野 美術館の入館料もマイナスですが、その理由とこれからの対策を伺います。

生涯学習担当課長 今後の対策は、パンフレット等は作りますがそれをどこに配るか、その辺をちゃんと取捨選択する必要がありますと考えています。

また、ホームページの充実等も図っていきます。

天野 お試し暮らし体験事業、この事業の利用人数、前年度との対比、それに費用対効果はどのようになっているかを伺います。

政策課長 6月に開催した地方創生等検討特別委員会と資料の提出をしていますが、くらし

かる真鶴を活用したお試し暮らし体験事業ですが、前年度において、退去しただけなかった方が発生し、上半期は制度改正を行い、受付を停止していましたが11月から再開し、申込みが7件あり

ました。今年に入りコロナが発生したため、5件のキャンセルが出た為、昨年度の実際の利用は2件にとどまりましたが、うち1件、3名が移住していただきました。移住件数は、平成28年度3件10名、平成29年度3件7名、平成30年度移住2件2名、平成31年度（令和元年度）合わせて9件22名の移住となっています。

費用対効果については、くらしかる真鶴のこれまでの移住者22名を対象に見てみると、平成29年に総務省が発表している定住人口一人当たりの年間消費額は、125万円と

いう試算が出ていますので、これを掛けますと22名の年間消費額、昨年度分として2750万円の消費が町内で行われたものと考えられます。これと合わせて、元年分の普通交付税が9億8930万9000円、国から入

ってきていますが、このベースとなる平成27年の国勢人口調査7333人で割りますと、住民一人

当たり13万4912円という普通交付税が入っています。これをくらしかる真鶴の移住者22名に合わせると、昨年度分で296万8064円ということ、消費効果と合わせると約3000万円の移住者による効果があるのではないかと考えています。



天野 一人当たり125万円の経済効果という総務省から出ているという説明ですが、小さな町の真鶴町でも当てはまるかと考えますか。

政策課長 年間消費額125万円というのが全国平均になっており、これについては全国平均で総務省が調査していますので、厳密な精査はしていませんが、一つの指標としては真鶴町よりもっと

ありますので、月平均すると10万円の消費が生まれるということで、これぐらいの消費はあるのではないかと思っています。ただ、所得税や、地方税はカウントされていませんので、純粹に国の全国調査の中で出てきた数字ということで大方こういった数字ではないかなと考えています。

天野 サテライトオフィス誘致利用事業について、前年比と実績を伺います。

政策課長 サテライトオフィスの誘致事業関係は、昨年度、町内の20代の若手男性を雇用常駐していただき、サテライトオフィスの視察、官民合同の協議会の事務方を担って

いただきました。これまでのサテライトオフィスの状況についても、先の特別委員会でも資料提出していますが、

これまで誘致が6件、起業された方が2件の実績です。

その他は都内のサテライトオフィスのためのマッチングイベント等に参

9月定例会

9月定例会

加し、そこから関心を持った団体の視察来町の対応をしました。

天野 費用対効果はどうでしょうか。

政策課長 サテライトオフィスで進出していただいた企業の責任者が、真鶴町に既に移住をしていただきました。また関係人口づくりにおいて非常に効果が上がっていると思います。この予算でできたことは、それなりに効果は出ている、具体的な数字はまだ捉えていませんが、町内での消費等につながっていると思います。サテライトオフィスの中には、研究事業に取り組み責任者が週に数日町内に宿泊し、活動していますので、今後は営業所等を設置し、登記していただきましたら、法人地方税等も期待できますので、引き続き取り組みんでいきたいと思っています。

政策課長 6件です。まず一つはウェブマーケティング会社、これは関西からの会社で、既にテレワークによる主婦の雇用を3名行つて事業を展開しています。次に、地域間交流事業を行っている機構が首都圏から開設をしており、これは岩地区の空き家を国交省の補助金を使い、セルフリノベーションを行い、そこでサテライトオフィス並びにテレワークができる拠点を整備してくれています。ウェブ運営会社として、これは地図データに町内あるいは近隣の宿泊、飲食施設等をマッピング情報として広く展開していくという企業が来ていただいております。IOTシステム開発会社で、間もなく上場される企業で、ここが今、エビの陸上養殖の実証実験事業を行つていて、その拠点としてサテライトオフィスを開設しています。その企業のホームページにもロンドンや和歌山にある拠点と合わせて真鶴のサ

テライトオフィスも掲載していただいております。

それから、結婚相談事業として東京の事業団体が登録をさせていただいており、こちらも町内の方の雇用、あるいは町内企業と提携して町内の行事に参加し、関係人口づくりに関与していただいております。大手の人材マッチング会社で、主に美容や福祉の求人サイトを運営している企業が、民間の物件に進出し、既に4名の子育て世代の主婦を雇用してテレワークを展開していただいております。この責任者が移住をしていただいて、間もなく雇用も増やす予定という報告を受けています。そのほか、起業としては、八王子からの20代の青年が役場近くでパン屋を独立開業しています。また先ほどの求人サイトと同じ民間物件に子育て主婦2名による美容エステサロンの起業がありました。

政策課長 シェアリングエコノミー活用推進事業におきましては、前年度総務省の100%補助による実証事業採択をいただき、まず町内の働き手などの程度いるか、あるいは町内の働きたいという方に対してどのような仕事ができるのか、ということの調査事業とテレワークの試行事業を行いました。それを創生事業に上げ、昨年度は総務省事業に続く事業を行いました。日本初のテレワーク会社のいわきテレワークセンターに委託し、昨年度は首都圏及び横浜地区、京浜地区の大手企業400社に対し、実際に真鶴町にサテライトオフィスとして進出する意向があるか、あるいは進出しなくてもテレワーク等で仕事を出せるかどうかの調査を行いました。シェアリングも併せて行つていただきました。対象団体としては、いわきテレワークセンターが副理事

長として所属される、日本テレワーク協会及び神奈川県中小企業家同友会、

公益財団法人横浜企業経営支援財団等の団体を対象に調査をしていただきました。その中から風光明媚で首都圏からも近い真鶴町に関心を持たれ、視察希望が数社あり、対応しました。ただ、その後のコロナ発生後の視察は見合わせになっていました。また、活用推進人材育成事業は、富士ゼロックス神奈川に委託をして、テレワーク事業及び研修ワークショップ(2回)を実施し、11名の応募があり、子育て主婦を含む7名、その他の見学者等を含め、13名の参加があったところです。在宅ワークの体験プログラムは、10回実施し、述べ46名のテレワークの参加者がありました。

天野 スタートアップタウン推進事業の具体的な内容と実績を伺います。
政策課長 リーンスタートアップジャパンという新規事業立ち上げのマネジメントを学ぶプログラムを商工会から通年要望があったものを複数年行つたものです。その最終年度として、引き続き専門家による講座等を行い、昨年度はリーンスタートアップの講座に7名、課題発見対話力養成講座で12名、情報発信力についてはコロナが顕著になってきたことから密を避けるために中止となりましたが、平成30年度の参加者8名のうち、令和元年度に2名の起業、サービ

質疑応答

9月定例会

が、地方創生プロジェクトマネジャーにおいては、国立情報研究機構から専門の方に来ていただき、情報通信並びに町の基盤整備等についてアドバイス、助言をいただきました。

産業文化振興事業委託

料については、町内にある、既存の石造物の中から主に産業・歴史遺産を産業・教育各課資料を元に、QRコードをつけた名盤を貼り付け、町のホームページと連動させて場所と石造物の説明が分かる、石造物の見える化事業を行いました。

天野 予防接種委託料、 昨年に比べて減っていますが、減の理由を伺います。

健康福祉課長 対象者数の減ですが、新型コロナウイルスの關係で予防接種控え、医療機関への通所控えというものが大きな要因として考えられます。



天野 松くい虫被害対策

事業は何本の松の木に樹注したのか伺います。

産業観光課長 439本の松に対して3970本のアンプルを注入しました。

天野 インバウンド対策 研究事業補助金5万円、こちらはもう成果物は出

上がっていますか。

産業観光課長 移動大学

等でお世話になりました。横浜商科大学の羽田先生に今までは無償でインバウンド対策講習会、町内事業者の方に対する講習会を2年ほど行ってきましたが、横浜商科大学で留学生を実際に連れてきて、町内に宿泊をしています。外国人の方から見た町に対する提言や、発表会の大学の事業です。

そちらに対する補助金として出したもので最終的には2月に結果報告、町民センターで報告を行いました。



天野 印刷製本費63万6

552円、これは「美の基準」の本を製本したという説明でしたが何冊ですか。

まちづくり課長 美の基

準を500冊印刷したものです。

板垣 2019年4月1

日からコンビニ納付が始まって、町民の利便性の向上に寄与していると思

いますが、何件ありましたか。

税務収納課長 去年4月

から町県民税が899件、固定資産税が1688件、軽自動車税が864件です。

板垣 老人福祉費の独り暮らし高齢者と緊急通報システム委託料ですが、

登録者数を伺います。

健康福祉課長 延べ人数

で302件です。前年度

比で5件の増です。月平均で26件前後ですが、その月によって増減があるので、年間では述べ302件です。

板垣 通報は何件ぐらい

ありますか。

健康福祉課長 平成30年

度が3件、令和元年度5件で2件の増加となっています。

板垣 希望すれば設置さ

れる形ですか。

健康福祉課長 緊急通報

の要件に合致すれば、無償対応ということで設置が可能です。

板垣 コミュニティバス

利用者助成金、免許の返納者への助成金ですが、人数は何名ですか。

まちづくり課長 37名です。

板垣 心の教室相談謝礼ですが、これはメールやLINEでも相談は受け付けていますか。

ずつ配置し、休み時間や放課後に相談室で児童生徒の対応をしています。

板垣 件数は何件ですか。

教育課長 小学校が延べ

11件、中学校が延べ30件です。



板垣 中学生グローバル

人材育成事業補助金の、中学校季刊誌「若い鶴」

でこの事業についての報告が載っていますが、参加を希望された方は何名

ですか。

教育課長 14名の派遣を

行っています。

板垣 海の学びミュージアムサポート事業（博学連携）実施された内容について伺います。

生涯学習課長 真鶴の海の自然を情報発信するた

めに、町外の小中学校に

出向き、平成18年度から

行っている海の学校の内

容を事前に教えたり、事前・事後のフォローアップを行いました。出前事業として9件実施し、919名レクチャーしまし

た。

板垣 県内の何校の学校

で実施されましたか。

生涯学習課長 町外の学

校9件です。

青木殿 町税収入の滞納

対策を伺います。

税務収納課長 令和元年

度からコンビニでの納付

を導入、それから町県民税につきましては、特別徴収の推進をしながら、県と連携をしながら

特別徴収の推進をしています。また、町民の方から口座振替をできる金融機関が少ないのではないかと伺います。現在、ゆうちょ銀行、さがみ信用金庫、かながわ西湘農協の三つの金融機関しか口座振替はできません。都市銀行にも増やしてくれないか

9月定例会

9月定例会

と要望もありましたので横浜銀行、小田原にあるみずほ銀行等も相談しています。滞納に対する処理方法ですが、地方税法に則りまして督促状、催告書の発布は当然ですがそれに加え、預金や生命保険の財産調査を実施し連絡のない場合には差押予告通知書を送付して国税徴収法に基づいて差押えを執行、収納率の向上に向け取り組んでいます。

青木 地方消費税交付金は昨年の10月に消費税が上がっていますが、前年度と同じ消費税確定額ということですが、説明をお願いします。

企画調整課長 地方消費税交付金は国に納められた地方消費税の額に基づいて算定されて配分されるものですが、去年の10月に10%上がったものが配分されるのは、令和2年3月になってからなので令和元年度はほとんどが8%の時のものです。

青木 歳入 プレミアム付商品券事業ですが、この事業は国の事業として、町

が委託事業として行いましたが、何人の方がこの商品券を活用され、何%ぐらいの利用率でしたか。

健康福祉課長 1月1日時点での非課税世帯の方が1036世帯の1442人。また、6月1日時点で3歳未満のお子さんを持つ子供たちが対象になりますので、その子育て世帯については76世帯85人。合計で1112世帯1527人の方が対象でした。最終的に425世帯601人の方が、申請をされています。申請率は41・48%ということになります。子育て世帯と合わせて501世帯726人の方が申請をされましたが、実際にプレミアム商品券を購入された方は31・29%です。

青木 歳入 31・29%という数字は、全国的に低いか平均的な数字かの確認は取れていますか。

健康福祉課長 全国的に見て、平均的な数字です。

青木 歳入 防災行政無線整備事業の自動メール配信設定委託料44万円ですが

これは真鶴町お知らせメールという、非常に合理性・便利性が良く、防災無線でこれならすぐメールで確認でき、町にいくとも町の色々な情報が入ってきます。気象情報防災、防犯情報も入ってきます。スマートフォンではなくてもガラケーの携帯をお持ちの方にも使っていたできるようにPRを行いませんか。

総務課長 広報あるいは土砂災害のマップのお知らせにも入れさせていたでいます。操作が難しい場合には、窓口に来ていただき、その場で御自分の携帯に設置することもやっています。これからもPRしていきます。

青木 歳入 貴船まつり小早船改修補助金、さらに組立図作成事業ですが、この装飾品を一部でも見る、また展示し、町の重要文化財のものであるというこの位置付けを、さらに高めることを考えていただけませんか。

教育課長 国・県の補助金、JRの補助をいただ

き、令和元年度実施致しました。今回貴船まつりがコロナの関係で中止ということだったのでお披露目できませんでしたが来年度、祭りが盛大に催しされるときは、周知も合わせて町民の皆さんにお披露目させていただければと思っています。

青木 歳入 ふるさと応援寄附金事業ですが、寄附金の返礼品について新しい商品を開発したということですが、工夫の内容、さらに、ふるさと応援基金と、町民の方が町外に寄附を拠出して出て行くお金の控除額等の兼ね合いを伺います。

政策課長 受入れ額が昨年度、715万円に對しまして、募集に関わる費用等が325万3493円で、パーセンテージにすると45・5%。これを差し引きしますと、389万6507円の寄附受入れ額になっています。それに對し令和2年度課税、元年度に寄附されたものは、442万9738円です。実際の募集受

入れの費用を除いた受入れ額から引きますと、昨年度は53万3231円の赤字です。

これは受入れは年度で出していますが、控除のほうは暦年ですので、これを暦年で換算すると寄附受入れ額が757万円。寄附に受ける費用が336万3032円、率にして44・4%と実際の受入れ額が420万6968円。それに対し、控除額が445万9738円になりますので、これを差し引きすると暦年では22万2754円となっております。若干マイナスという結果になっています。小松石の端材等を有効活用という観点で、念珠、ブレスレット、ネックレスといったアクセサリーについて、全国展開をする大手の石専門の業者とタイアップし、試作を行っています。製品が完成した際には、ふるさと返礼品にも採用していきたいと思っています。

岩本 野猿対策協議会負担金、24万円。有害鳥獣被害対策事業補助金の8

和元年度のふるさと納税また真鶴の方が他の市町村へ寄附した金額の控除額、真鶴に来るべきものがよその市町村に行ってしまった金額が455万4000円です。人数にしまして99名の方が、他の市町村へ寄附をしています。

岩本 児童インフルエンザ予防接種費用、67万5050円、接種した人数と対象者人数と比べて何%かを伺います。

健康福祉課長 前年度の接種率は37・8%です。対象者は、小学生は2回接種で、回数としては537回です。

岩本 インフルエンザワクチン接種費用等助成金12万7796円、この接種人数も教えてください。

健康福祉課長 小田原医師管内の医療機関と契約していない域外の場所でも接種した場合の償還払いの件数は、元年度は5件です。

納税の町の控除分は、令

令和元年度のふるさと納税また真鶴の方が他の市町村へ寄附した金額の控除額、真鶴に来るべきものがよその市町村に行ってしまった金額が455万4000円です。人数にしまして99名の方が、他の市町村へ寄附をしています。

岩本 児童インフルエンザ予防接種費用、67万5050円、接種した人数と対象者人数と比べて何%かを伺います。

健康福祉課長 前年度の接種率は37・8%です。対象者は、小学生は2回接種で、回数としては537回です。

岩本 インフルエンザワクチン接種費用等助成金12万7796円、この接種人数も教えてください。

健康福祉課長 小田原医師管内の医療機関と契約していない域外の場所でも接種した場合の償還払いの件数は、元年度は5件です。

令和元年度のふるさと納税また真鶴の方が他の市町村へ寄附した金額の控除額、真鶴に来るべきものがよその市町村に行ってしまった金額が455万4000円です。人数にしまして99名の方が、他の市町村へ寄附をしています。

岩本 野猿対策協議会負担金、24万円。有害鳥獣被害対策事業補助金の8

質疑応答

9月定例会

万円。この2つは、どんな事業をやっているのかを伺います。

産業観光課長 猟友会等の活動費に対する助成、また、猿が出た時のロケット花火等の対策用品の購入が主なものです。

有害鳥獣対策協議会 野猿対策協議会と同様で主に猟友会の活動費の助成等が行われています。

岩本 野猿に関してはほとんど追い払いだけだと思いますが、有害鳥獣となると、カラスなども入ってくると思います。どういふ対策をしているか伺います。

産業観光課長 カラスに對しましては、真鶴ではあまりやっていません。真鶴・湯河原地域全体的にイノシシの被害が大変多くて、そちらに対する活動費が非常に多くなっています。

岩本 カラスはやってないということですが、港のほうではカモメも最近害があるという話も聞いています。その辺も含め

て、対策をぜひお願いしたいと思います。次に、真鶴駅周辺地区の現況調査委託料、289万3000円。測量をやった費用だと思えますが、その成果がどうなのかを伺います。

まちづくり課長 真鶴駅周辺地区現況調査委託料ですが、真鶴駅の利用者調査、商店主聞き取り調査、真鶴駅周辺交通量調査等を委託したものです。

岩本 空家協議会委員謝礼3万2000円。この事業はどんなことをやったのかを伺います。

まちづくり課長 昨年度は一回開催しました。内容は、前年度に空家等対策計画案を作成しましたので、それを令和元年度に庁内で内容の精査をしてその後10月1日から1か月間パブリックコメントを実施しました。空き家の所有者にアンケートを実施し、結果を空家協議会の委員さんのほうに報告をしました。

岩本 その開かれた会議が1回だけだったという

ことですか、予算は19万2000円ありました。16万円減らされ3万2000円。その一回の協議の身を伺います。

まちづくり課長 1回しか開催されなかったというのは、コロナの関係でなかなか会議が招集できなかったということですが、真鶴町の将来をかなり左右します。空き家をいかに利用するかということ

は非常に大事な話で、しっかりと協議してもらわないと困ると思っています。大事なことなので質問させてもらいました。ぜひしっかりとやっていただきたいと思います。

黒岩 研修センター改修工事109万8900円



ですが、臨接する鉄工所と協定は結ばれましたか。以前の議会でも「協定を結ぶようにするつもりだ」という回答があり、その対象地域は、県の土砂災害警戒区域内に敷地が入っているということについて、議論の中で「土砂災害特別区域内ではないから良いのではなか」と「みたいな議論があったと記憶しています。町としてはどのように考えていますか。また一時避難所として津波・地震から町民の安全を守るという目的で通路ができるということですが、特別区域でなくても土砂災害の警戒区域になっているということが問題じゃないかと思いますが。

総務課長 津波の可能性のある場合の鉄工所への避難については、協定の進捗状況は、内容についての調整が済み、書面で内容を確認していただいています。その中で鉄工所のほうから土曜日、日曜日お休みになってしまう

ので、中には入れないというのを心配されています。調整する予定ですが、2点目の土砂災害の警戒区域については、土砂災害警戒区域（イエロゾーン）に該当しています。ただ、今回の研修センター改修工事は、研修センターからより高いところへ逃げる津波の避難経路の選択肢を増やしたものです。

黒岩 戸籍住民基本台帳等経費の中の証明書交付所センター運営費負担金が34万5510円となっていますが、予算は45万5000円でした、これがマイナスになったのはどのような原因が考えられますか。

町民生活課長 加盟する参加団体への負担金が減少したことが要因です。参加団体が増えたことにより、町が負担する負担金が減ったものです。当初予算は514団体が加盟する計画でしたがその加盟団体が602団体へ増えたことにより、34万5510円となりました。

黒岩 検討に入っているということですが、どこまで進んでいるのか分かりません。

黒岩 真鶴駅周辺地区現況調査委託料の進捗状況について伺います。

まちづくり課長 真鶴駅の利用者等がどこから来る利用者が多いのか、バスを利用する方が多いのか、また、真鶴駅の交差点をどの方面からどの方面に行く車が何台あるのか、実際に数を数え、実態調査を行っています。

黒岩 その内容・経過について伺います。

まちづくり課長 真鶴駅周辺地区構想検討会議に委託をかけた調査結果を公表しながら、駅のロータリーの在り方、駅周辺の在り方等を検討していただいています。

黒岩 検討に入っているということですが、どこまで進んでいるのか分かりません。

まちづくり課長 平成30年度に作成しました真鶴町グランドデザインの中の真鶴駅周辺地区で、駅ロータリーの利用実態調査の結果や、公共交通の活性化、再生の考え方も

した。

9月定例会

9月定例会

取り入れた利用ルールの変更が、短期事業に組み込まれています。実際に駅ロータリーの利用実態調査等を行っていなかったため、委託をかけて調査をしました。

報告書はできています。真鶴駅周辺地区現況調査委託料、真鶴駅周辺地区構想検討会議について、検討会議の中で議論した中で長期的に検討していかなければならないこと短期的にすぐに着手できないようなことが記載されています。長期的に検討していかなければいけないことは、北側と駐車場の在り方について関係者との交渉等押し進めることが求められています。

一方、短期的に着手できそうなことは、ロータリー内の環境改善です。植栽、線の引き方、あとロータリー内のルールの確認をすることが掲げられました。

黒岩 給食事業費に関連して伺います。給食費は現在コロナで無償になり補助もされていますが、

平成30年度と令和元年度の比較を伺います。30年の4月から保護者負担が月額4120円から4300円に値上がりし、これは令和元年度も継続されています。

教育課長 給食の単価は一食260円ということになっています。4300円という値段は月額給食費で、昨年度の月額給食費4300円は、年間の給食回数かける260円で計算しています。一食当たりの単価は260円で変わっていません。



黒岩 公有財産購入費、

民俗資料館の3480万円で購入された件について伺います。公共施設等多額の資金が必要な公共

施設の購入については、もっと計画性を持って行わないといけないと思っています。計画の段階から住民に知らせ、説明し住民の参加の下に進めるべきではないかと思えます。この件についてはその点が不十分だったと思います。それについてどのようにお考えか、町長に伺います。

町長 これまで町が無料でお借りしていましたが土屋さんから私に相談にかかるので、できれば買ってもらいたいと言ってきました。あそこは民俗資料館ですから、町の民俗の全て入っています。町民の関係や山の関係、それと土屋さんの石の関係、あの辺から江戸城の石を持っていったというのは分かっています。そのような関係からあそこ民俗資料館がどうしても欲しく買入れました。教育委員会に値段の交渉をさせて下げていただき相手方から来た話です。どうしても町はあの民俗

資料館が欲しく、そのために借りていました。将来は建て直して、ちゃんとした民俗資料館プラス岩住民の集会所にしようと思えます。一つの拠点として岩地区の観光の拠点にしようという思いから購入しました。

黒岩 私が質問したいのは、そういう多額の公共施設や、事業を行う場合待たなしてそうなったというような買い方ではなく、やはりもっと地域の住民に事前に説明や意見を聞いたり、情報を公開することをきちんとやり、どういう意見の基に決めていくかという手続を取らないとまずいと思います。住民からの協力も今後得られないように思います。お金のことで言うと、過疎債が使えるといっても、それは70%は交付税で戻りますが、30%は借金です。率が良くても30%というのは、将来にわたる訳ですからやはり慎重に考え、住民の意見をもっと大切にしていき情報公開もしっか

り行わなければいけないとおもいますが。**教育長** 住民の意見をとる視点で話をさせていただきます。ちょうどこの話の前の段階で教育委員会としては、真鶴町全体の岩地区を含めた文化財については、「保護と活用」というのを大きな柱として数年来ずっと取り組んできました。その中で民俗資料館も保護と活用という視点でいこうというような大きな柱を持っていました。

一方で、ランドデザインの流れがあり、岩地区のランドデザインについては、住民の方を集めて御意見を伺った中で、岩地区の今あるああいうものを、文化財として活用するという方向で行くほうがいいのではないかとこの意見が出されました。そういうものを含めて最終的に、その民俗資料館に対する町の執行部側の思いもあり、購入に踏み切りました。

黒岩 今教育長が言われたことは以前にも伺いましたし、私もランドデザインのとときの岩地区の会合にも、出させていただきました。しかし、大きな事業や、大きな公共施設を買うときは、ランドデザインの中だというのではなく、特に岩地区には、元若小学校のふれあい館という地域の皆さんのよりどころで防災の拠点にもなっている公共施設もあり、その耐震化や寿命をもっと、もたせることが、大きな課題として地域にもあると思います。やはり全体的に見ながら地域の住民に具体的に説明をして決めるという姿勢を、ぜひ持つべきではないかと思えます。最後に町長一言お願いします。

町長 先ほど言ったとおり、相手側から話があったけど、まがなかった。でも議会全員協議会に話して当初予算で通してもらいました。これ決算ですよ。終わったことです。当初予算で認めてもらった。その時に言ってくれば、まだ話はできま

し、まだ話はできま

質疑応答

9月定例会

たが。土屋さんから私にもし何かあったときに、売り買いができないかもしれないので、相続の問題でいろいろと難しい問題があるといけないという話を私に話してくれました。このことについては議会全員協議会で話したと思います。



反対討論

黒岩

町長の話は聞きましても聞きました。しかし当初予算のとき私も意見を言いましたが、あまりに時間がなく、案件が分かった途端に採決になった訳です。つまりそのようなやり方は、相手との関係で時間が無かったといいますが、この問題は前から出ている問題だと思っています。この小さな町で本当に有効な形で町民の協力を得ていくには、計画の段階から住民に知らせ、我々にも知らせってもらう形で、進めることが一番大事だと思います。

私は令和元年度真鶴町一般会計決算に反対致します。

消費税が10月より8%から10%に増税されたことは、個人消費を冷え込ませ、町民の暮らしに大打撃を与えました。

保育料の無償化については評価しますが、町民の暮らしと福祉を守る立場から、主な反対理由を述べます。

民俗資料館の購入について

民俗資料館の土地建物を過疎債を使って3480万円で購入しました。民俗資料館の持つ文化的・歴史的価値は認めますが

事前の地域住民への説明や計画性が十分にあったとは考えられません。

岩地区には旧岩小学校の岩ふれあい館という地区の皆さんのよりどころで、防災の拠点にもなっている公共施設の耐震化長寿命化も待ったなしの課題です。多額の購入費もかかる公共施設や事業については、計画の段階から情報公開をして住民に知らせ、説明し、住民参加、住民の協力の下に進めるべきではないでしょうか。

琴ヶ浜研修センター改修工事について

連絡階段の改修工事が109万8900円かかりました。この地域は神奈川県内の土砂災害警戒区域に入っているとどこだということ、地震・津波対策の一時避難のために連絡通路を作った、本

当に危険はないのでしょうか。安全性についても

次いで、プレミアム商品券事業について、購入者

が31・29%しかなかったというのは、消費税増税に伴う低所得者と子育て世代への支援対策にはならなかったと考えます。5000円のプレミアムがついたとはいえ、低所得者と子育て世代に2万円負担を強いるのは、あまりにも厳し過ぎ、購入者の減少につながったのではないのでしょうか。

給食費について、30年

4月より保護者負担4120円から4300円に値上がりし、令和元年もこの金額は継続されているとしました。値上げ幅は、その30年から見ると小学生の数は真鶴の統計によれば198人で、180円かける11か月だと39万2040円となります。

この金額というのは、民俗資料館購入金額と比べると、この金額の88倍

が民族資料館の購入になるような、小さな金額として比較できると思います。この値上げは続けるべきではなかったというふう

に考えます。現在はコロナ対策で無償になっていない

自治体の自衛官募集を巡る対応について、真鶴町は名簿を提出ということとはしていませんが、住民基本台帳から該当者を抽出した名簿の一覧を認めていくということでは、真鶴の若者の個人情報を守る上でも、住民基本台帳から該当者を抽出せず

台帳の閲覧を認めるように変更すべきではないか

と思います。以上、反対討論と致します。

「歳入」

森 一般被保険者国民健康保険税の医療給付費分

現年課税分の収入済額の被保険者数をお聞かせください。

29人です。同じく介護納付金分の現年課税分の被保険者数をお聞きます。

「歳出」

森 一般被保険者医療給付費分の件数をお聞きます。

町民生活課長 一般被保険者医療給付費分の件数

つきましては、2130件で、1件当たり10万6574円となっております。

森 同じく退職者の被保険者等医療給付費分の件

数をお聞きます。

町民生活課長 退職者被保険者等医療給付費分

つきましては、ゼロ件ですが、滞納繰越分があったことにより、県に支払ったものです。

森 疾病予防費の疾病予防事業の中の生活習慣病

予防事業委託料8万2000円は35歳以上を対象としたものですが、何人で

9月定例会

9月定例会

すか。
町民生活課長 生活習慣病予防事業委託料につきましては、福祉大会で行ったもので、35歳検診が2人です。

決算の認定について
 (令和元年度真鶴町国民健康保険事業特別会計(施設勘定) 決算) 全員賛成

「歳出」
森 施設管理費の一般管理費でコロナの影響があると思いますが、診療所の受診者数と分かれば初診をされた方の人数を教えてください。

町民生活課長 受診者数は1万2920人で全くの初診の方は、334人で、3か月以上間が空いてから受診された方が1842人で、その方を含めると合計で、2176人を初診とみなしています。率としましては、16.8%です。

決算の認定について
 (令和元年度真鶴町下水道事業特別会計決算) 全員賛成

歳入総額は2億3290万1000円で、前年度対比1474万2000円の増。歳出総額は2億2905万7000円で前年度対比1264万4000円の増となりました。

黒岩 下水道使用料について10月より消費税が8%から10%になりましたが、値上げ分の2%の消費税分は幾らになりますか。

まちづくり課長 11月分の納付書から10%加算しました。五か月分で約9万7000円です。
青木蔵 社会資本整備総合交付金の内容と前年度1700万円ぐらいで今年度3400万円になった経緯を伺います。

まちづくり課長 下水道管の管渠築造工事に係る分で、補助対象事業の二分の一、事業費の額により変動があったという事

です。

青木蔵 この交付金は予算要求する時に、整備計画を出せばそれに基づいて交付されると一部の資料にあります。この約3000万円は管渠工事の整備規模が大きかったことによるものですか。

まちづくり課長 社会資本整備総合交付金は、平成30年度に1730万円ありました。令和元年度は公共下水道管渠築造工事が約8000万円ありまして、補助対象事業の二分の一を受けています。

【反対討論】

黒岩 消費税が10月から8%から10%に上がったということ、増税されたということ、町民の暮らしは全般的にも大変厳しくなっています。増税分を使用料に転嫁するのは反対いたします。

決算の認定について
 (令和元年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計決算)

賛成多数

歳入総額は2489万5000円で、前年度対比1604万4000円の減。歳出総額は2439万2000円で、前年度対比1090万7000円の減となりました。

天野 魚座開店準備負担金100万円の使いみち等、町は把握していますか。
産業観光課長 使いみちは、厨房機器修理14万6869円、グリストラップ、排水管清掃11万2320円、フロアメンテナンス31万4820円、害虫駆除5万4000円、不用品引取費5万4540円、食堂の椅子90脚購入、その他厨房のガス給湯器の交換などで100万円です。



するのかが伺います。



天野 ケープ真鶴開店準備負担金200万円の内訳を伺います。

産業観光課長 ケープ真鶴につきましては、平成26年から食堂運営がほとんど行われておらず、厨房機器の修繕撤去などに経費が掛かりました。冷蔵庫2台、冷凍庫1台の撤去と処分に係る工事等汚泥の処理、排水管の洗浄、ネズミ等の駆除などに88万円、大型冷凍庫の修繕に20万8846円、厨房・レストランの壁面・床面の清掃87万6767円等、合計しますと319万9203円となりますが、協議により200万円を負担しました。

青木蔵 収入未済額の経理的、事務的処理をどう

するのかが伺います。
産業観光課長 今年度調整させて頂きます。相手方が倒産し裁判所の方も確定していますので、年度中に不能欠損処理扱いになります。
黒岩 評価結果報告書には、ケープ真鶴は人を呼ぶ施設なので、周辺機関との連携をもっと密にしても良いのではないかと書かれています。この周辺機関との連携とはどういうことを意味するのでしょうか。
産業観光課長 観光の振興を目的としていますので、例えば町内美術館、博物館、観光協会等の機関とも連携し、観光振興施設としての機能をもっと充実させるべきと解釈しています。

黒岩 そうしますと観光協会とか美術館とかあまり連携を持たなかったという事ですか。
総務課長 補足いたします。前年度以前の指定管理についての評価としてそういった部分が見受けられたということで、評

質疑応答

9月定例会

価委員からはそのところを力を入れたらどうかというアドバイスがあったという意味です。

黒岩 前指定管理者が指摘されていた、報告書類や負担金の納入の遅れについては、重々注意するよう改めて申し添えるところあるわけですが、このような事態がかなり生まれていたと理解していいのですか。

産業観光課長 報告義務等、遅れていたということはありません。歳入面においても、最終的に指定管理の途中取り消しとなった一番大きなものでした。出納閉鎖までに、前年度分が納入されなかったところを踏まえてのことだと思います。

決算の認定について
(令和元年度真鶴町 介護保険事業特別会計決算)

全員賛成
 保険事業勘定の歳入総額は9億6655万1000円で、前年度対比2

113万8000円の増
 歳出総額は9億2476万7000円で、前年度対比4455万3000円の増となりました。

黒岩 介護サービスの事業勘定の歳入総額は584万6000円で、前年度対比105万8000円の減
 歳出総額は469万6000円で前年度対比74万8000円の減となりました。

岩本 今年1月1日現在の要支援1から介護5までの認定者数を伺います。
健康福祉課長 要支援158人。要支援2、62人。要介護1、111人。要介護2、87人。要介護353人。要介護4、75人。要介護5、39人で合計485人となっています。

岩本 今年に入ってからコロナ騒ぎが出てきました、地域サロンが停止され、集合できる場所がなくなってきました。介護予備軍と言われる人たちの状況については把握されていますか。

健康福祉課長 1月1日現在から今日現在まで、

介護認定者数は大きな変動はありません。新型コロナの関係で地域の地域サロンは休止としていますが、今月から町民センターの地域サロンについては、予防対策を取りながら再開しました。介護予防教室は最大25人までにグループ分けし、再開しました。休止していた期間中は包括支援センターからは訪問、電話相談など、そういったことをしながら、それぞれの状態の確認を継続してきました。

黒岩 現年度分普通徴収保険料の収入未済額が増えている理由はなんですか。
税務収納課長 普通徴収の保険料につきましては昨年の収入未済の人数が48名、今年度が52名と4名増えたのが要因です。

黒岩 普通徴収ということとは年金をもらっている方でも引き落とせないということ、所得が低いということがあるのでしょうか。
健康福祉課長 1月1日現在から今日現在まで、

健康福祉課長 滞納、収入未済の状況は分析しています。第一段階の方の収入未済も多いのですが第六、第七段階の方の収入未済も全体の40%を占めています。令和元年度のみ収入未済が、増え

ましたというところも要因にありますので、納め忘れとかがないよう、電話勧奨等に努めています。

黒岩 支え合い分かち合

黒岩 体制づくり委員会の運営補助金、昨年は159万円で、今年は145万4000円、減った理由は何ですか。
健康福祉課長 減額の大きな要因は生活支援コーディネーターの研修費の経費削減と老人デイサービスの朝の送迎等、54週で人件費の積算をしていますが、51週で積算したことによる減額です。

黒岩 成年後見制度利用支援事業が増えている理由は何ですか。
健康福祉課長 町長申立の後見人が3名ついていました。令和元年度に

新たに1名新規申し立てを行いました。

黒岩 高齢者も多くなり後見人をつけないと難しい部分も増えたと思いますが、役場を通じてお願いするほうが安心感があると思いますが。

健康福祉課長 全ての方に町長申立でやるというわけではなく、まず親族で後見人をしていただく親族後見をお願いしています。

青木 低所得者保険料軽減繰入金についての説明と、令和元年度低所得者の軽減強化について第一段階、第二段階、第三段階までの割合を下げること、65歳以上の方が全体の3割というこの数字の変動について伺います。

健康福祉課長 昨年度の10月からの消費税の増税に伴う保険料は第一段階0・375に半年間、第二段階0・62に、第三段階0・72に軽減されました。影響額478万8000円の四分の一を一般会計から繰り入れていま

す。対象人数は第一段階505人、第二段階212人、第三段階225人で、高齢者の数から比べると、約3割の方たちが対象になっています。

決算の認定について
(令和元年度真鶴町 後期高齢者医療特別会計決算)

全員賛成
 歳入総額は1億2691万4000円で、前年度対比683万1000円の増。歳出総額は1億2056万円で、前年度対比166万1000円の増となりました。

決算の認定について
(令和元年度真鶴町水道事業会計決算)

賛成多数
 収益的収入は2億2837万5000円で、前年度対比323万2000円の減。支出は2億1042万9000円で、前年度対比39万4000

円

円

円

9月定例会

円の減となりました。

資本的収入は2686万3000円で、前年度対比3425万8000円の減。支出1億653万5000円で、前年度対比3266万円の減となりました。

黒岩 10月から消費税が8%から10%になったというので、2%の増税分は幾らになりますか。

まちづくり課長 消費税8%と10%の差は約160万円です。

青木 聡 供給単価と給水原価を伺います。

まちづくり課長 供給単価は245円17銭で、給水原価は243円51銭です。

青木 聡 売っている値段に対して作っている値段が今2円低いと、この給水原価を下げるには今の町の置かれた状況から結構無理があるように見えます。逆に供給単価を上げることも少し考えていかなければいけないのではと、そう思うのですがそれについての見解を伺います。

まちづくり課長 昨年、

町の水道料金及び下水道使用料について審議会を3回ほど開いていたきました。その答申は基本料金のみ5%の改定を実施することが望ましい。

しかし新型コロナウイルスの経済への影響など、

今後の住民生活において労働的な状況が懸念されるような状況に鑑み料金改定の時期については水道事業の問題解決のため早期の料金改定の必要性を認めつつも、利用者の立場に立ち慎重に判断すべきである。との答申が出ています。

【反対討論】

黒岩 下水道と同様の理由で消費税増税について水道使用料に消費税10%分を転嫁することに反対します。

決算審査は本会議のみで行いました。

令和元年度決算に基づく真鶴町健全化判

断比率について

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率について、いずれも早期健全化判断基準を下回っているとの報告がありました。

令和元年度決算に基づく真鶴町資金不足比率について

下水道事業特別会計、水道事業会計ともに、資金不足はないとの報告がありました。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について

全員賛成

意見書は次ページ(15ページ)に掲載しています。



新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。
- 5 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年 月 日

衆議院議長
 参議院議長
 内閣総理大臣
 財務大臣
 総務大臣
 厚生労働大臣
 経済産業大臣
 内閣官房長官
 経済再生担当大臣
 まち・ひと・しごと創生担当大臣 宛

真鶴町議会議長 青木 健

令和2年 9月定例会 審議結果

会期：8月18日～21日

議案番号	議案	採決者数	賛成	反対	議決結果	岩本克美	森敦彦	天野雅樹	黒岩範子	高橋敦	青木巖	田中俊一	板垣由美子	海野弘幸	青木繁	青木健
同意第9号	教育委員会委員の任命について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第34号	工事請負契約の締結について（真鶴聖苑自立・分散型エネルギー設備等導入事業）	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第35号	真鶴町常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第36号	真鶴町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	10	9	1	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
議案第37号	真鶴町町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第38号	令和2年度真鶴町一般会計補正予算（第3号）	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第39号	令和2年度真鶴町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第40号	令和2年度真鶴町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）補正予算（第1号）	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第41号	令和2年度真鶴町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第42号	令和2年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計補正予算（第2号）	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第43号	令和2年度真鶴町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第44号	令和2年度真鶴町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第1号	決算の認定について（令和元年度真鶴町一般会計決算）	10	6	4	認	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
認定第2号	決算の認定について（令和元年度真鶴町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算）	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第3号	決算の認定について（令和元年度真鶴町国民健康保険事業特別会計（施設勘定）決算）	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第4号	決算の認定について（令和元年度真鶴町下水道事業特別会計決算）	10	9	1	認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
認定第5号	決算の認定について（令和元年度真鶴町真鶴魚座・ケープ真鶴特別会計決算）	10	6	4	認	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
認定第6号	決算の認定について（令和元年度真鶴町介護保険事業特別会計決算）	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第7号	決算の認定について（令和元年度真鶴町後期高齢者医療特別会計決算）	10	10	0	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第8号	剰余金の処分及び決算の認定について（令和元年度真鶴町下水道事業会計決算）	10	9	1	認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
報告第4号	令和元年度決算に基づく真鶴町健全化判断比率について				報											
報告第5号	令和元年度決算に基づく真鶴町資金不足比率について				報											
発委第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について	10	10	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長は裁決にわりません

審議結果

【採決結果】○＝賛成 ×＝反対 退＝退席 欠＝欠席（遅刻・早退を含む）除＝除斥

【議決結果】可＝可決 否＝否決 承＝承認 認＝認定 同＝同意 報＝報告 採＝採択 趣＝趣旨採択 不＝不採決



板垣由美子 議員

オール真鶴で

乗り越えよう！

「コロナ禍における町民への支援について」

緊急事態宣言は解除されましたが、町民は大変な思いを抱いて日々暮らしています。そこで少しでも町民の皆様の生活が安全・安心に進むよう、次の点について、町の考えを伺います。

①町内の全ての業種に対して利用可能な町全額負担の商品券を町民に配布することは、

②令和2年4月28日以降、令和3年4月1日誕生までの新生児に対して、国の特別定額給付金と同額の10万円を町独自の給付金として給付し、コロナウイルス感染予防への親の負担を軽減することは。

答

①「町内の全ての業種に対して利用可能な町全額負担の商品券を町民に配布することは、」

②「令和2年4月28日以降、令和3年4月1日誕生までの新生児に対して特別定額給付金と同額の10万円を町独自の給付金として給付し、コロナウイルス感染予防への親の負担を軽減すること

町民の皆様の生活支援、営業自粛や観光客減少等で売上が落ちている町内の事業者救済の一助とするため、今回の補正予算で関連の経費を計上しており、補正予算のご承認を頂いた後には、8月1日時点で住民登録のある全町民に対し、町内協力店で使用できる1万円分商品券を配布致します。商品券は準備が整い次第郵便書留で発送します。お手元に商品券が届きましたら、協力店のステッカーが貼ってある店舗で使用でき、令和3年1月末が使用期限です。協力店については12月中旬まで商工会が随時募集しています。

一般質問



黒岩 範子 議員

新型コロナウイルス感染症対応地域創生臨時交付金の積極的な活用を

「特別定額給付金」や「中小企業者等緊急支援給付金」「次亜塩素酸水の無料配布」「保育園・幼稚園小中学校の給食費の補助」などが迅速に実行され、多くの町民に喜ばれています。

全国的に感染が広がる中で、景気は一向に回復せず、見通しが立たないと多くの事業者は訴えており、町民は暮らしの行き先先に不安を募らせています。臨時交付金の積極的な活用をはかるべきです。

日本共産党はコロナ対策について5月1日に第一次、7月22日に第二次申し入れを町長に行いました。その中で、町民全員に商品券の支給などが

今後審議される補正予算に盛り込まれています。PCR検査の充実として神奈川県が発進しているスマートフォン方式の活用は出来ませんか。

町内の医療機関での導入は、地域医療全体のバランスを勘案しながら慎重に判断します。

感染拡大を防止するために、感染震源地を明確にし、介護や福祉施設・保育園・幼稚園学校などに勤務する職員や65才以上の高齢者へ優先的なPCR検査が必要で

す。小田原PCRセンターはドライブスルー型のため、車がない人や高齢者は行きづらいので町内でのPCR検査が必要ではないでしょうか。

町内でのPCR検査は慎重に判断します。災害発生に備え、衛生用品や避難所での3密を防ぐための備品などの備蓄はできませんか。

段ボール間仕切り、畳シート、収納ボックス、段ボールベッドの4点が1セットとなってい

る避難所用間仕切りセットを135セット購入する考えです。

今後の防災はコロナ感染防止にも併せて取り組む立場から、教室やテントを使用しての運動場の活用が必要。

分散型避難ということ

で自宅が避難所になる場合は、連絡や物資が届くよう検討すべきです。

収入が減少した小・中学生がいる家庭を対象に、就学援助の認定を緩和し、家計を支援できませんか。

「真鶴町就学奨励交付認定基準において収入額等が前年より著しく減少すると認められる世帯については、前年の収入額にかかわらず、認定対象とすることが出来る」との規定により、「申請月にかかわらずさかのぼって認定を行なう」対応とします。二学期が始まったら全児童・生徒の保護者に周知徹底します。

一般質問

委員会等報告

議会運営委員会

7月6日

湯河原町議会運営委員会から視察研修受け入れ

湯河原町議会運営委員会と真鶴町議会映像配信（YouTube）について意見交換を行いました。天野議会広報特別委員長より説明があり、真鶴町議会では平成28年からUstreamサービスを使用してインターネットに接続できる環境下なら誰でも閲覧できるように対応しました。平成30年新たにYouTubeに真鶴町の公式チャンネルを立ち上げ、配信を開始しました。議場のカメラ及び音響機械の一部変更を実施し、議員控室にカメラを新設しました。令和元年には委員会中継に対応したマイクを設置しました。湯河原町議会、山本委員長からは、議会内の映像配信について現状を説明され、Liveshellで中継したYouTube配信を実施できることを確認し

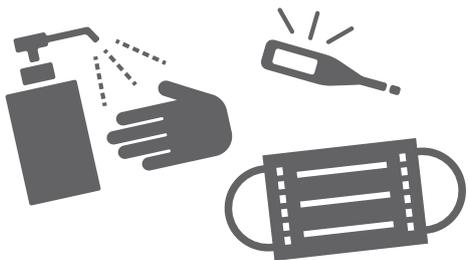
総務民生常任委員会

7月28日

ナーシングホーム真鶴（看護小規模多機能型居宅介護施設）の現状について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う議会対応
一般質問関係は次のように決定しました。9月定例会の一般質問は、初めの質問は全項目を述べて答弁を求め、2回目以降は、一問一答方式とする。議員一人当たりの質問時間は答弁も含め、30分以内で行うものとする。

委員長 青木 巖



診療所施設3階の利用と、訪問看護・訪問介護事業を行う為、4月より稼働始めた事業を進捗状況についての報告と質疑を実施しました。慣れ親しんだ真鶴で、「いつもの暮らし」を支える。運営理念に掲げスタートした「ナーシングホーム真鶴」は、通所利用に限らず、在宅での看護・介護を可能とし、利用者ニーズに応じて柔軟に対応できる施設として動き始めています。稼働後3カ月を経過した現時点での諸問題等について、現状報告をいただきました。

コロナ禍の現状において、3密を回避しながらの運営で、収益的には厳しいものの、利用者は徐々に増えつつあり、利用者一人ひとりの状態や

委員会等報告

地方創生等検討特別委員会

6月30日

環境を考慮したサービスの提供がなされている。施設訪問をさせていただき、現場で働く職員から施設利用上の問題点や改善点などについて聴取させていただきました。

令和2年8月20日
意見書の提出について
「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求め意見書」を国、関係機関に求める意見書提出について、委員会において決議しました。

委員長 高橋 敦



広域行政特別委員会

6月12日

令和2年度地方創生事業報告及び令和2年度地方創生事業計画
・令和元年度過疎対策事業報告及び令和2年度過疎対策事業計画
について協議を行いました。

7月16日

水道事業の広域化について検討する湯河原町・真鶴町広域行政推進協議会水道専門部会の委員を選出しました。

8月11日

令和2年度第2回湯河原町・真鶴町広域行政推進協議会の案件である、ごみ処理広域化足柄下郡系統の整備について、し尿等運搬車両の更新について説明を受けました。

委員長 海野 弘幸



各議員の委員会等への出席・傍聴（令和2年6月～令和2年8月）

※1 白枠は出席対象
※2 傍聴は自由です

委員会	開催日数	出・傍	岩本克美	森敦彦	天野雅樹	黒岩範子	高橋敦	青木 巖	田中俊一	板垣由美子	海野弘幸	青木 繁	青木 健
議会運営委員会	2	出席		2	2		2	2	2	2	2		議長はすべての委員会に出席します
		傍聴	1			2							
総務民生常任委員会	2	出席	2			2		2	2		2		
		傍聴		2	2		1			2		1	
経済文教常任委員会	0	出席		0	0		0		0	0		0	
		傍聴											
地方創生等検討特別委員会	1	出席	1	1		1	1	0	1	1			
		傍聴											
議会広報特別委員会	2	出席	2	2	2	2			1	2			
		傍聴											
広域行政特別委員会 ※湯河原町真鶴町広域行政推進協議会	3	出席			3			3	3	3	3	3	
		傍聴				2							
全員協議会	3	出席	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
		傍聴											

諸般の報告（6月～8月）

月		岩本	森	天野	黒岩	高橋	青木	板垣	田中	海野	青木	青木
		本		野	岩	橋	巖	垣	中	野	繁	健
6月	例月出納検査					出						
7月	神奈川県町村議会議長会収支決算監査											出
	決算審査					出						
	湯河原町議会視察来庁			出			出	出	出			出
	神奈川県町村議会議長会7月役員会											出
	神奈川県町村議会議長会令和2年度第1回定期総会											出
	例月出納検査						出					
8月	例月出納検査					出						

3月から5月にかけては、新型コロナウイルス感染症の影響で会議等が多数中止になったため、件数が少なくなっております。



町の鳥「インヒヨドリ」



町の花「ハマユウ」

真鶴町議会は、町民の皆さんへの説明責任を果たし、皆さんの意見を議会活動に反映させることを目的として、毎年議会報告会を開催しておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の感染が拡大していることから、延期といたします。開催が決定しましたら、広報などでお知らせいたします。

□問い合わせ
議会事務局
☎内線 363

真鶴町議会報告会の延期について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、真鶴町議会では、議会を開催するにあたり次のように対策を講じています。

- ① 傍聴人数を制限する。(先着10名)
- ② 議場内はマスク着用
- ③ 手指のアルコール消毒
- ④ 町側の出席者を最小限にする。
- ⑤ 一定時間ごとに換気する。

※体調の優れない方は傍聴をご遠慮ください

議会を傍聴してみませんか

次の議会は
定例会12月3日(木) 4日(金) 11日(金)
の予定です。

真鶴地域情報センター・インターネットでも議会中継をしています。



公式チャンネル真鶴町



真鶴町議会ホームページ
アクセスはこちらから



議会広報特別委員会

- 委員長 天野 雅
- 副委員長 板垣 由美子
- 委員 森本 敦克
- 委員 岩本 克美
- 委員 岩本 彦美